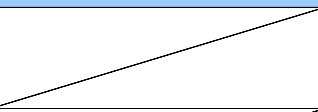
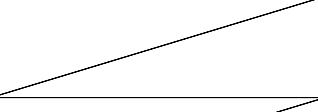
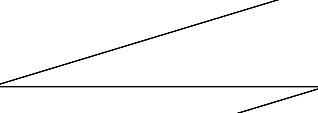
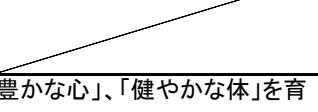


2020年度 施策マネジメントシート【2019年度実績評価】

作成: 2020年 6月 12日

施策番号 2-1-1	施策名 学校教育の充実	基本目標 政策名 豊かな心を育む人づくりと生涯にわたる学びの充実	
	主管課 学校教育課	課長名 有澤 勝昭	内線 511
施策関係課			

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
地域社会と連携しながら信頼される学校づくりを推進し、新しい時代を自ら切り拓くことができる心身豊かな人づくりを目指します。		児童生徒	・豊かな学力、豊かな心と健やかな体を育み、未来を切り開くための資質・能力を身につける				児童生徒が社会に出たときに自立できる
成果指標		説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度(予想)	2022年度目標
① 「授業の内容がわかる」と回答した児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査	%	75.8	74.0	76.0	80.0	
② 「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査	%	72.2	77.4	78.0	78.0	
③ 「朝食を毎日食べている」と回答した児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査	%	85.7	87.7	89.0	90.0	
④							
成果指標設定の考え方	成果指標の設定は、全国学力・学習状況調査の結果を採用し、「豊かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む上で、3つの指標を設定した。 目標値の設定は、各成果指標共に5%程度の上昇を目指し設定した。						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算
施策事業費 (千円)	907,458	895,658
人工数(業務量)	6.4412	7.0169

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2019年度の成果評価	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかつた <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標①は低下、②、③は上昇。⇒ ①の指標の内、小学生では77.1%であり、特別支援教育の充実や平成30年度からの小学校全学年35人以下学級編成の効果が伺え、全体としては、成果は変わらなかつたと考える。
②2022年度の目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①、②は、特別支援教育の充実や平成30年度からの小学校全学年35人以下学級編成による、個に応じた学習支援を継続することで目標達成を目指す。 ③は、芽室産食材を活用した「めむろまるごと給食」の実施、食物アレルギー等に対する代替食の提供、栄養教諭による全校全学級の食育指導を継続することで目標達成を目指す。
(2) 施策の成果評価に対する2019年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	①小学校・中学校施設維持管理事業 ②児童生徒支援事業 ③小学校・中学校教材・教具整備事業 ④学校給食管理運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・「①」⇒各学校施設は老朽化が進んでいるため、令和2年3月に芽室町学校施設等長寿命化計画を策定した。今後、本計画に基づき長寿命化に向けた効率的な工事実施を進め、安心・安全・快適な教育環境の整備を図る。 ・「②」⇒特別な配慮や支援を必要とする児童生徒のため、教育活動指導助手や学校支援員を配置し、個に応じた学習支援を実施した。また、小学校全学年35人以下学級編成のため、教育活動指導助手を配置した。(平成30年度から小学校5・6年生へも拡大) ・「③」⇒学校におけるICT環境整備のため、令和元年度より、校務用・教育用コンピューターの計画的更新を開始した。(令和元年度は西中学校の校務用・教育用コンピューターを更新) ・「④」⇒芽室産食材を活用した「めむろまるごと給食」実施、食物アレルギー等に対する代替食の提供、栄養教諭による全校全学級の食育指導を実施した。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A:実現した
 B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
 C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した
 D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない
 E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》 ①学校施設などの老朽化対策や多様なニーズへの対応。(R1:芽室町学校施設等長寿命化計画策定)／②「社会に開かれた教育課程」の実現を重視した新学習指導要領への対応。(R2:小学校、R3:中学校で全面実施)／③特別な支援や配慮を必要とする児童生徒の増加への対応。(R2:地域コーディネーター複数配置)／④「学校におけるICT環境整備方針(GIGAスクール構想)」への対応。 《今後の予測》 ①個別施設毎の長寿命化計画の策定に基づく計画的整備が必要である。／②「地域とともにある学校づくり」を推進するためコミュニティ・スクールの取組が必要である。／③地域コーディネーター複数配置、教育活動指導助手、学校支援員の充実による発達支援システムの推進が必要である。／④校舎内における通信環境の整備、児童生徒一人一台端末の配布が必要である。</p>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?	<ul style="list-style-type: none"> 「地域とともにある学校づくり」としてのコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の推進。(R1:学校運営協議会制度開始) ・GIGAスクール構想の実現に向けたICT計画の策定。 ・食農教育の推進を踏まえた「めむろまるごと給食」の事業見直し。

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

- 新学習指導要領実施など教育環境の整備に向けた対応(児童生徒支援事業、小学校・中学校教材・教具整備事業)
 - ⇒外国語活動・外国語科の推進に向けた英語指導助手の配置や、プログラミング教育等のためのICT教育環境(GIGAスクール構想)の整備
 - ⇒少人学級の継続や発達支援システムと連携した特別支援教育の充実に向けた人員の増員
- 学校施設などの環境整備(小学校・中学校施設維持管理事業)
 - ⇒芽室町学校施設等長寿命化計画に基づく老朽化改修と多様なニーズに対応した施設整備
- 学校給食の提供や食育指導に向けた体制の充実
 - ⇒児童生徒数の減少に伴う道教委配置の栄養教諭の減員に伴う対策と体制の充実及び食農教育の実施

6. 総合計画推進委員会(府内評価)

評価	芽室町学校施設等長寿命化計画の策定、公務用・教育用コンピュータの計画的更新の開始などにより、学校教育環境の充実を図っており、策定時と比較して前進していると評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果		○			
今後の取組に対する意見	GIGAスクール構想や食農教育など、新規事業が多く、広く町民に周知することが必要である。	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	ICT教育の推進に向けて準備が進められ、学校教育環境の充実が図られていることから、策定時と比較して前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果		○			
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育について、協議の過程と結果が分かるように保護者に説明をしてもらいたい。 ・朝食をとることの大切さについて、子どもたちだけではなく、保護者に対しての働きかけも必要である。 	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					